

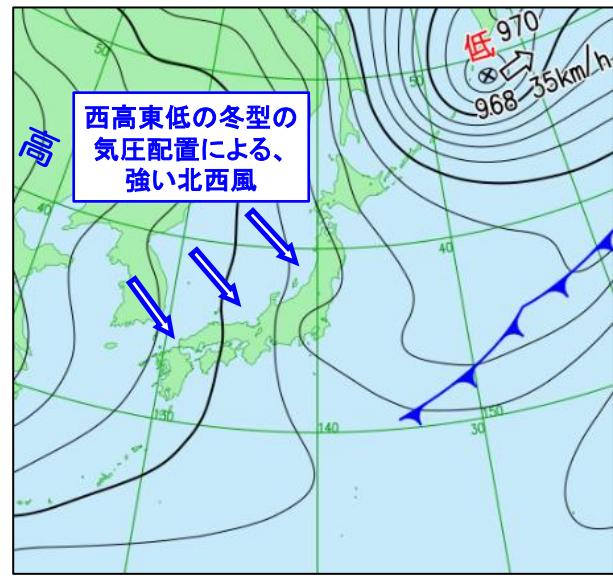
大分市における火災発生時の気象概況

気象庁

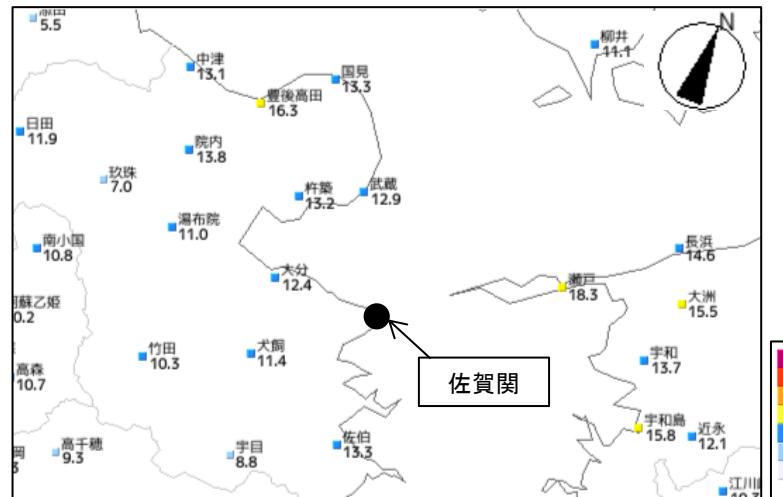
大分市における火災発生時の気象概況について

- 大分市では、11月18日（火）までの過去30日間にまとまった雨がなく、佐賀関（さがのせき）アメダスでの30日間合計降水量の観測は38.5mm（平年比37%）と平年に比べて少なかった。
- 火災があった18日は冬型の気圧配置となり、海上を中心に強い北西の風が吹いていた。
- このようななか、大分地方気象台は大分市に対し、17日（月）朝から19日（水）明け方にかけて強風注意報を、19日昼前から乾燥注意報を発表した。

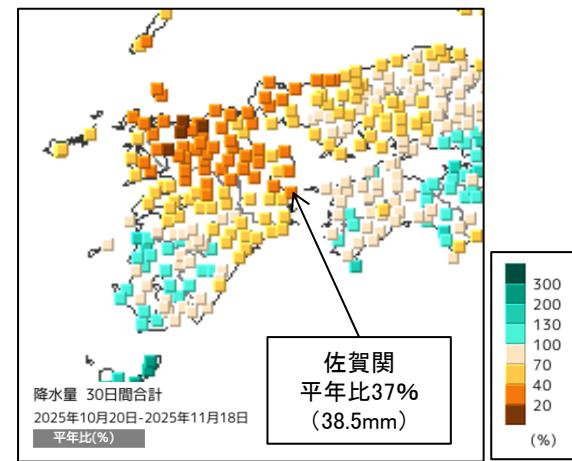
● 実況天気図(11月18日18時)



● 11月18日の日最大瞬間風速(m/s)



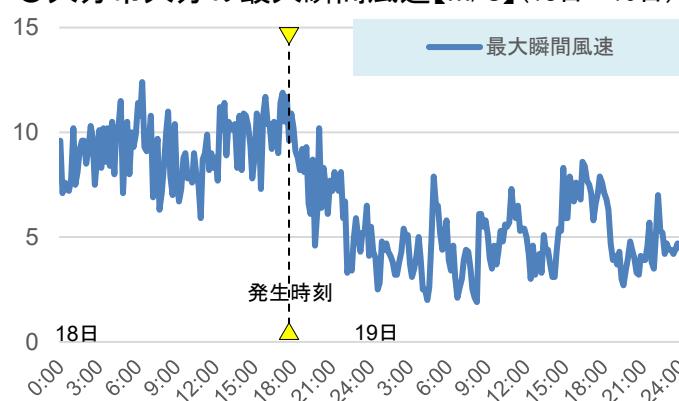
● 11月18日までの30日間合計降水量の平年比(%)



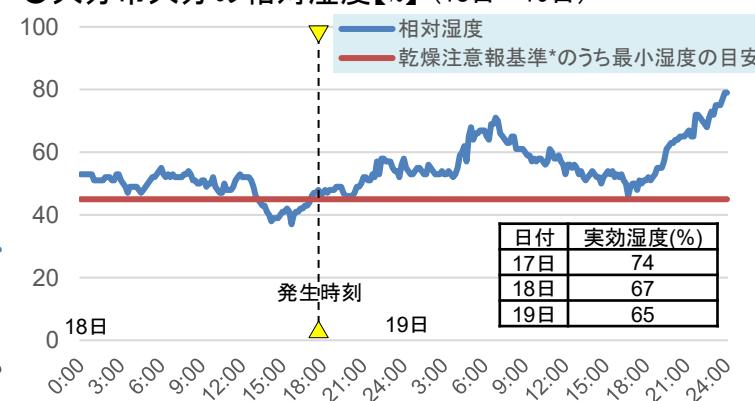
● 強風注意報、乾燥注意報の発表状況
(11月17日～11月24日)

発表時刻	強風注意報	乾燥注意報
2025/11/17 07:33	↑	
2025/11/19 04:29	↓	
2025/11/19 09:13		↑
2025/11/24 16:19		↓

● 大分市大分の最大瞬間風速【m/s】(18日～19日)



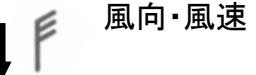
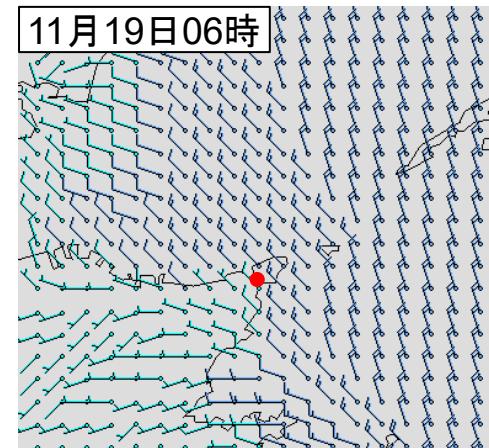
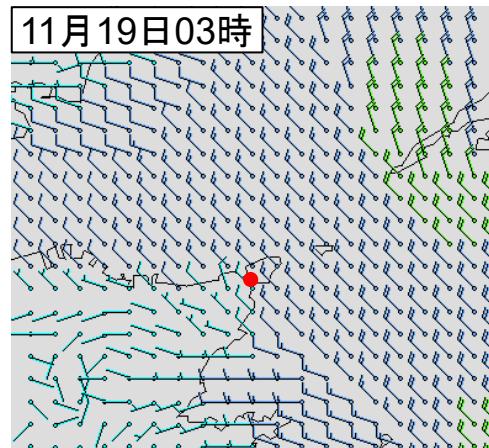
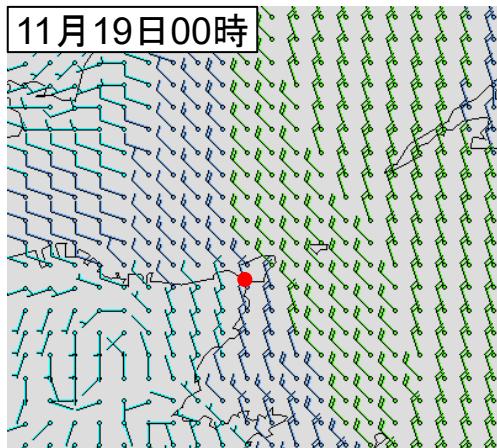
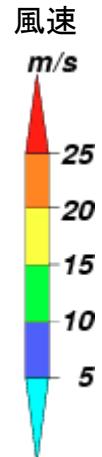
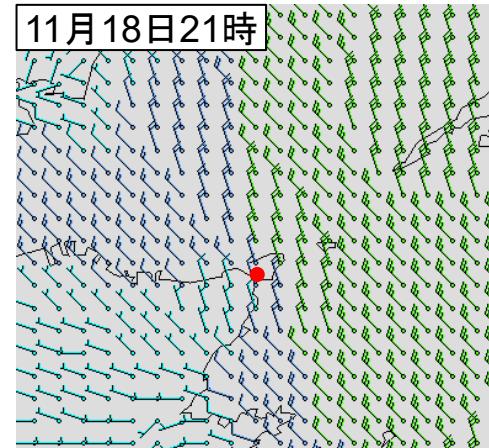
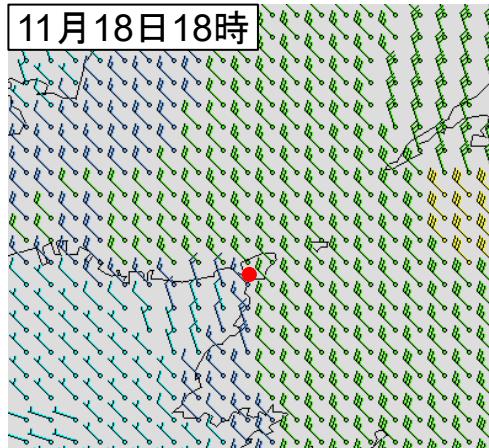
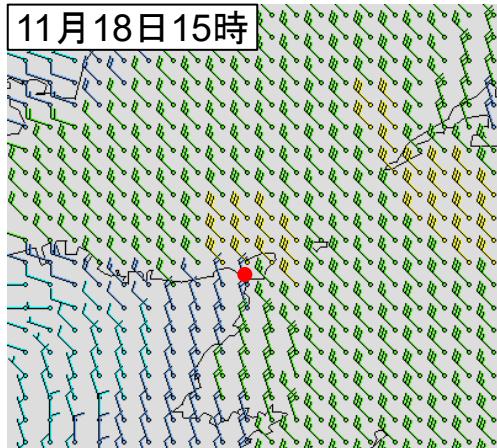
● 大分市大分の相対湿度【%】(18日～19日)



*乾燥注意報基準=最小湿度45%で、実効湿度(※)65% (※注)実効湿度:木材の乾燥の程度を表す指標で、数日前からの相対湿度を考慮に入れて計算。

11月18日15時～19日6時の大分市佐賀関付近の風の解析

スーパーコンピュータによって解析された風の分布(観測された値ではありません。)



短矢羽は5ノット(約2.6m/s)
長矢羽は10ノット(約5.1m/s)
風は羽のある方から無い方に向かう
上図の場合は北の風、30ノット(約15m/s)

● 佐賀関



【利用上の注意事項】

このデータは風の空間分布や時間変化を大まかに把握するためのものです。地形の影響による局所的な風の強弱は平滑化されるため、特定の地点における風向・風速値は表現できていません。